

# 2010年度経営プラン Q1フォロー

2010年8月  
古河電気工業株式会社  
取締役CFO 櫻 日出雄

## 営業利益予想(前回⇒今回)

**上期 + 30億円(150⇒180)**

**通期 + 40億円(320⇒360)**

**電子・自動車分野の回復が継続し、  
金属、軽金属事業が好調**

# 10Q1PL実績《対09Q1》増収・増益

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

## 電子・自動車分野向け高機能素材が回復

PL	a 09Q1	b 10Q1	b-a 増減
売上高	1,667	2,243	+34.5%
営業利益	-79	91	+170
持分法損益	7	-6	-13
経常利益	-68	84	+153
四半期純利益	-35	42	+78

# 10Q1末BS実績 ROA改善

FURUKAWA ELECTRIC

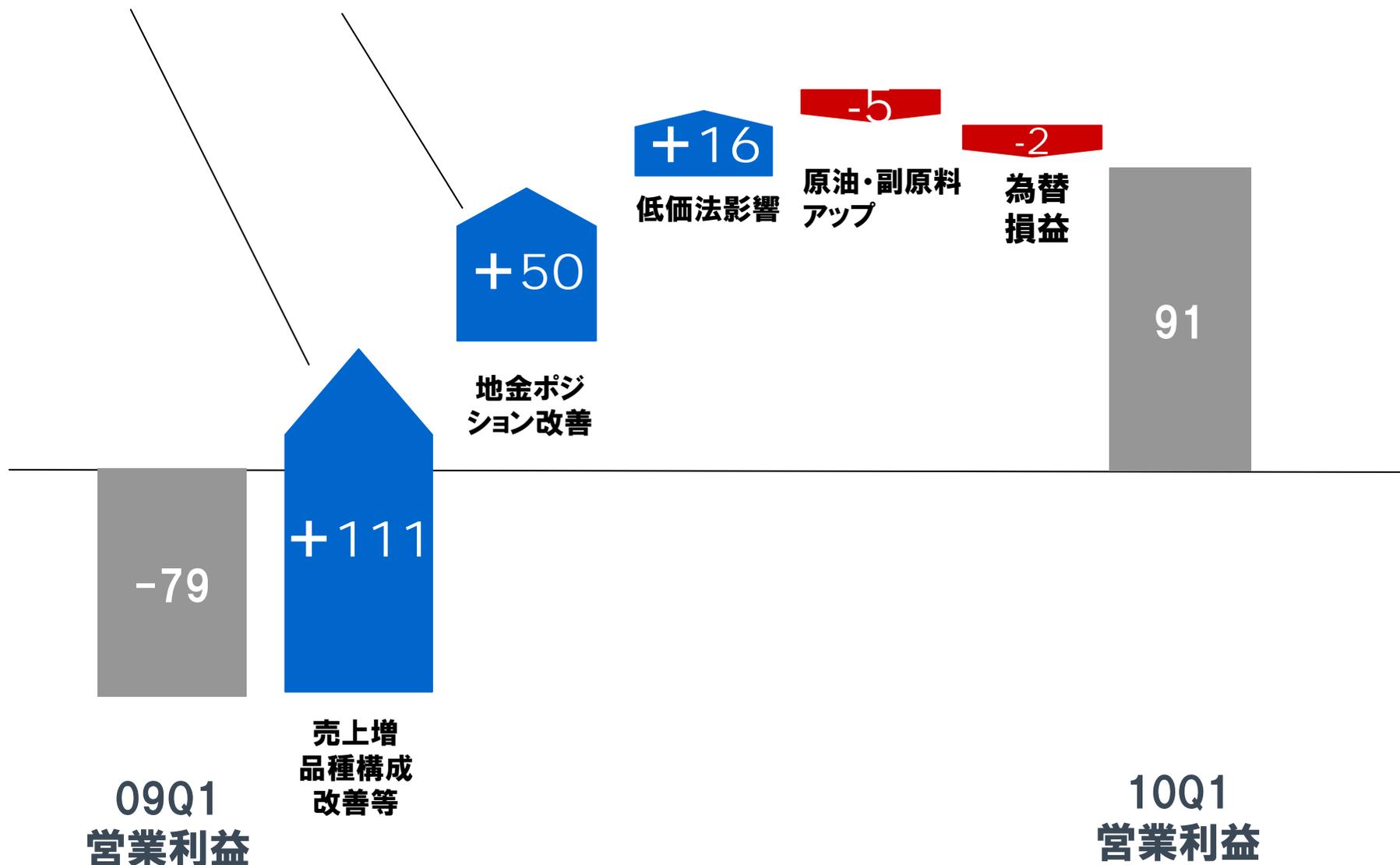
(総資産、有利子負債の単位:億円)

	a	b	b-a
BS	09Q4末	10Q1末	増減
総資産	8,358	8,433	+75
自己資本比率	19.6%	19.4%	-0.2
有利子負債	3,621	3,673	+52
D/Eレシオ	2.22	2.25	+0.03
総資産回転率	0.97	*1.06	+0.09
ROA (営業利益ベース)	2.4%	*4.3%	+1.9
		*年率換算値	

# 営業利益増減【09Q1】⇒【10Q1】

## 売上増・地金ポジション改善が増益の主要因

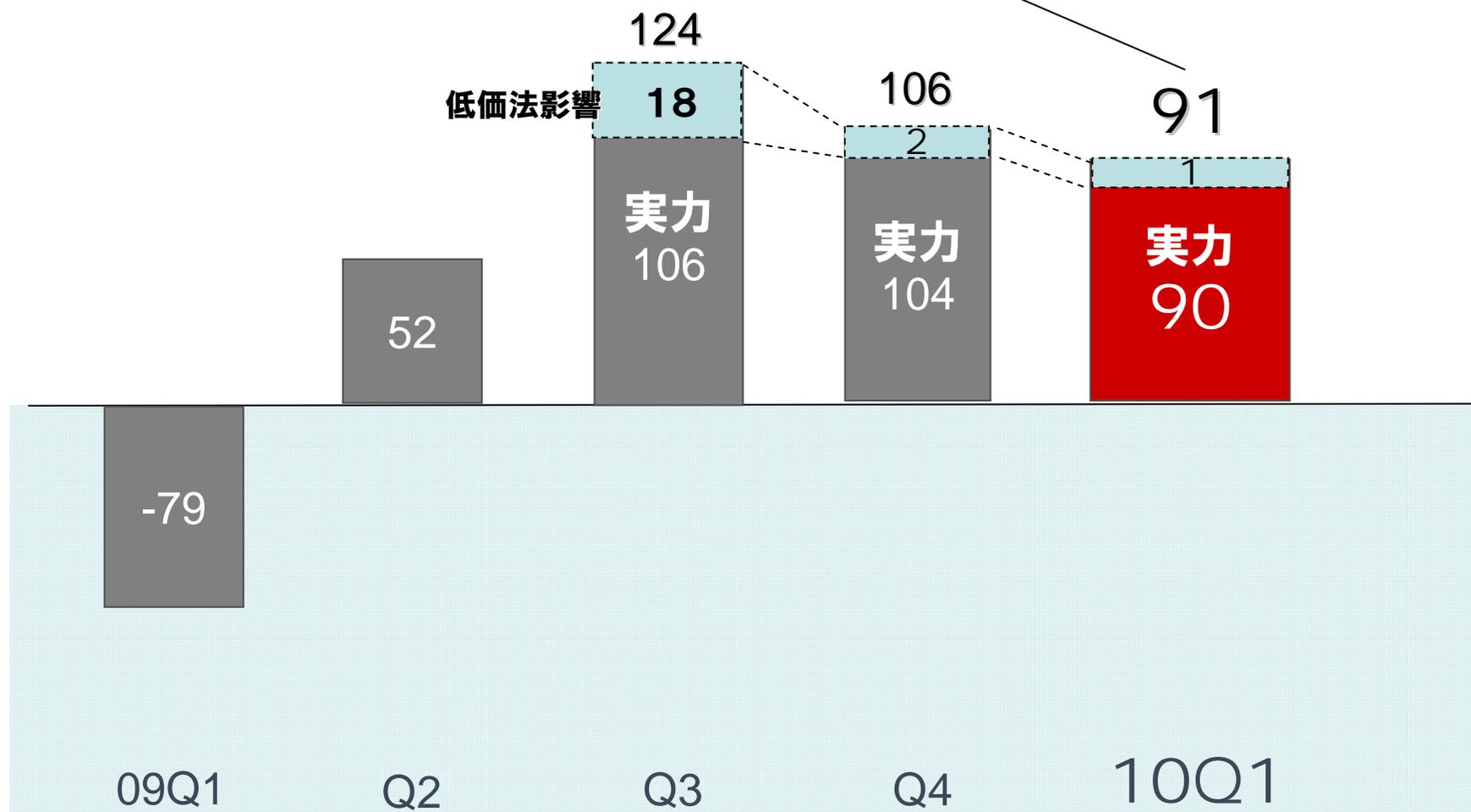
(単位:億円)



# 10Q1 営業利益

## 10Q1は予想を上回る利益

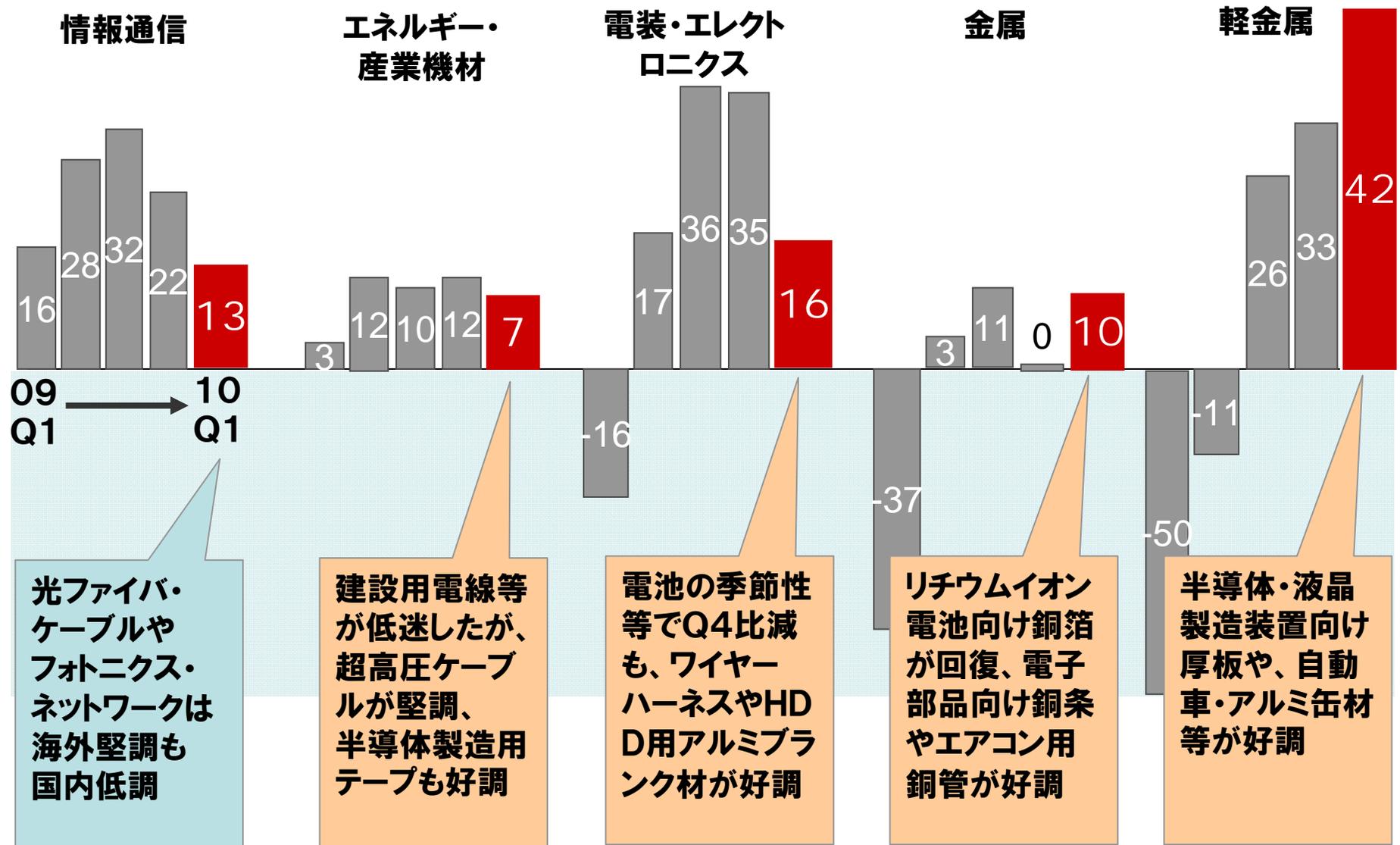
(単位:億円)



# セグメント別営業利益推移

FURUKAWA ELECTRIC

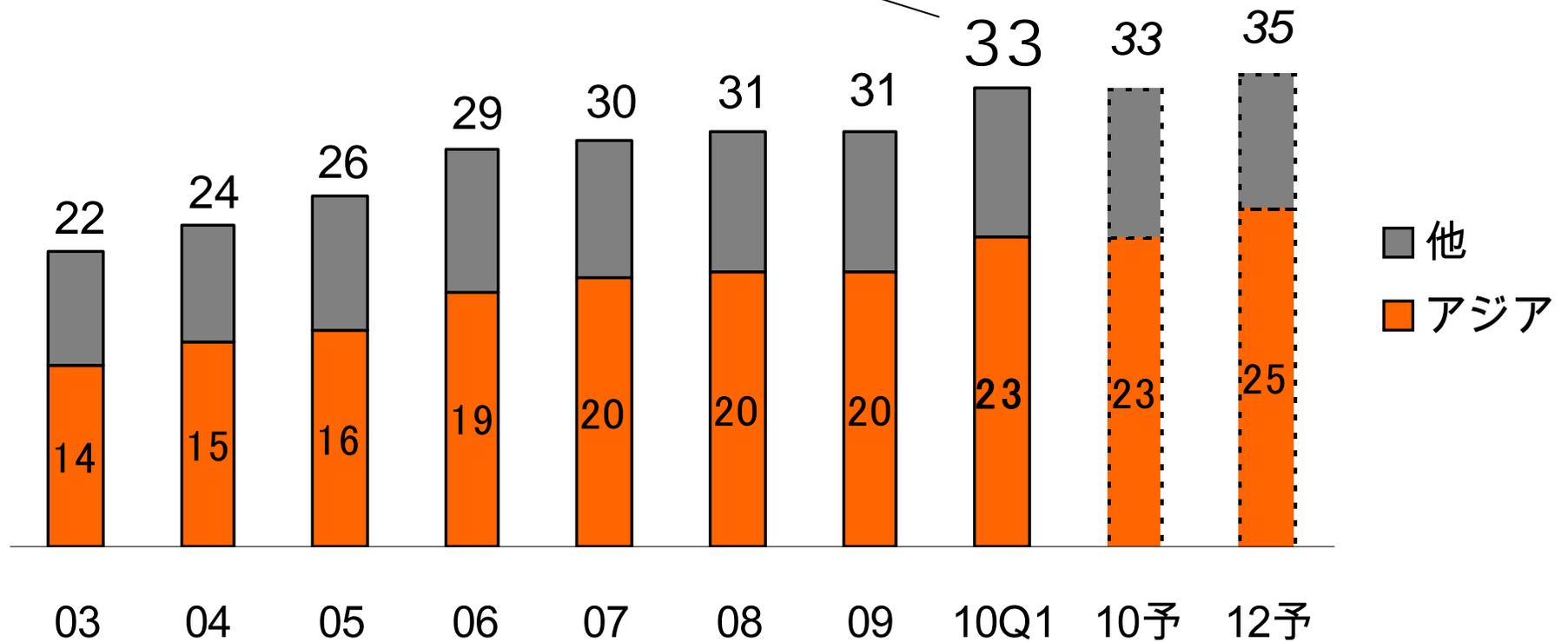
(単位:億円)



# 海外売上高比率推移

(単位:%)

## アジア伸び33%に 10年度予想値に到達



# 業績予想修正 上期・通期とも上方修正

FURUKAWA ELECTRIC

(単位:億円)

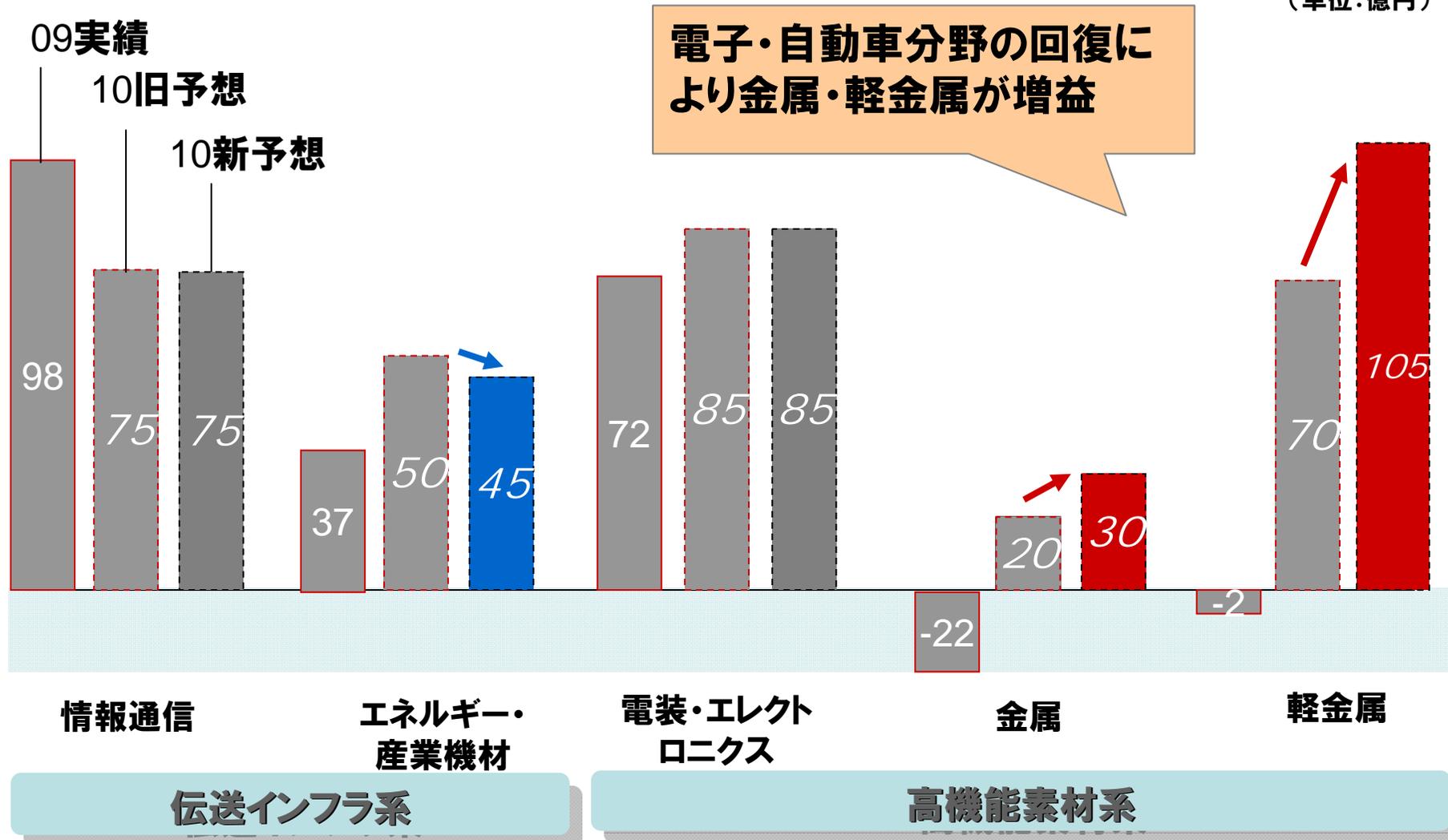
	10上期予想			10通期予想		
	前回	今回	増減	前回	今回	増減
売上高	4,450	4,600	+150	9,000	9,200	+200
営業利益	150	180	+30	320	360	+40
経常利益	125	160	+35	270	320	+50
純利益	50	75	+25	110	125	+15
<b>諸元</b>						
為替(円/ドル)	90	90	±0	90	90	±0
銅地金(円/kg)	640	640	±0	640	640	±0
アルミ地金(円/kg)	220	245	+25	220	233	+13
原油(ドバイ、ドル/B)	79	76	-3	79	78	-1

●上期は電子・自動車関連事業の好調が続く

●下期は不透明感あるものの、上期と同レベルを見込む

# セグメント別営業利益予想

(単位:億円)

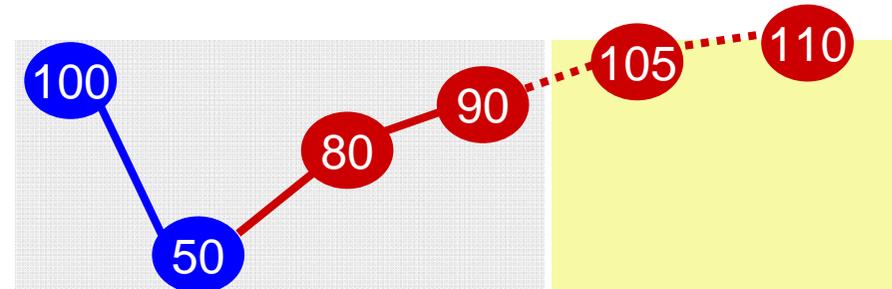


数量ベース  
08上=100

08上 下 09上 下 10上予 10下予

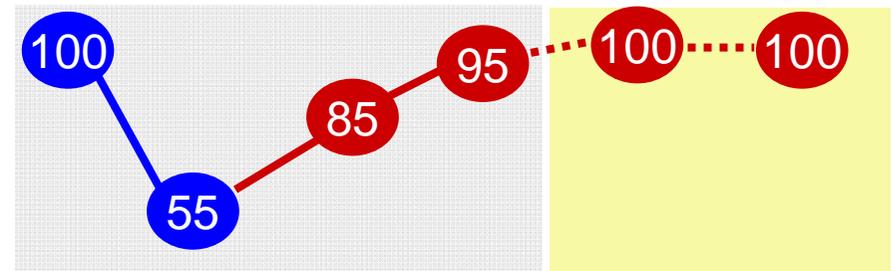
## 銅箔

(金属:リチウム電池、プリント基板用)



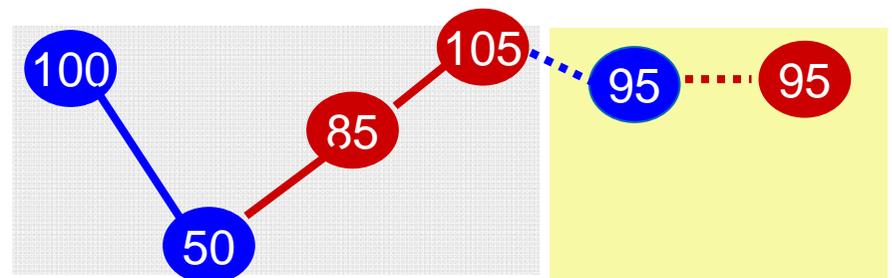
## 半導体テープ

(エネ産機:半導体ウェハ加工用)



## アルミブランク材

(電装エレ:ハードディスク用)



# 伝統的加工事業 品種により回復に差

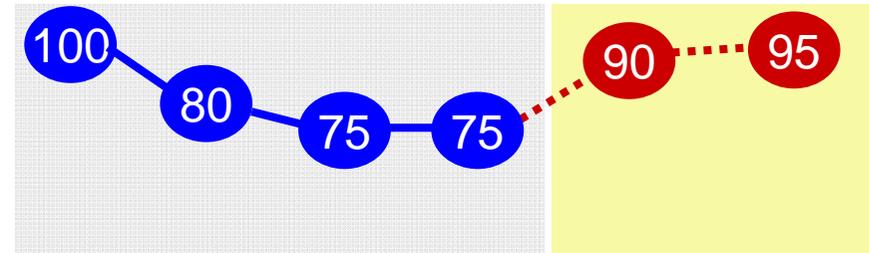
単体・数量ベース

08上 下 09上 下 10上予 10下予

08上=100

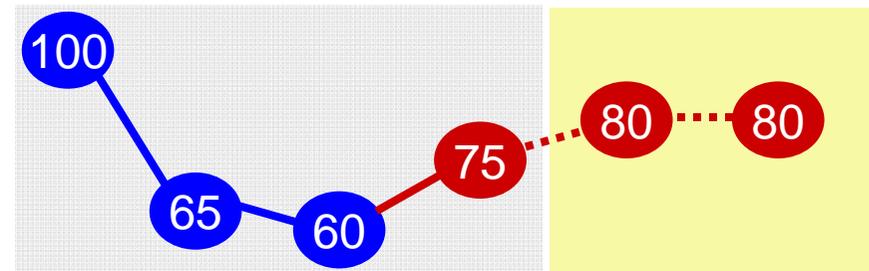
## 汎用銅線

(エネルギー:電線用)



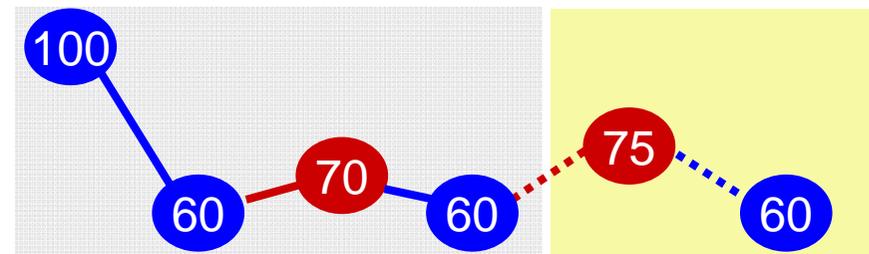
## 銅条

(金属:リードフレーム、コネクタ材用)



## 銅管

(金属:エアコン用)



**情報通信**

**中国で亨通と光ファイバ母材の合併会社設立に合意**

**エネルギー産業機材**

**中国で産業用ゴム電線の合併会社設立に合意**

**電装エレクトロニクス**

**HDD用ガラス基板の量産を5月に開始**

**金属**

**国内の銅管生産体制見直しに着手**

**中国のりん青銅条子会社の合併化交渉を開始**

ご清聴ありがとうございました。

***Bound to***  ***Innovate***

## 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

## 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。